

太陽光発電・蓄電池システムを導入しました

株式会社日野エンジニアリングでは、本社ビル屋上に太陽光発電システム、駐車場敷地内に蓄電池を設置いたしました。

本設備導入により、CO₂排出量や消費電力量の削減を実現し、環境への配慮と持続可能なエネルギー利用の推進に貢献して参ります。

また、BCPの一環として災害発生時には蓄電池による電力確保、また各事業所への連絡や地域住民へ機器への充電提供などを想定しています。

また、日野エンジニアリングでは、一部社用車としてPHEV(プラグインハイブリッド車)を導入。駐車場内に充電用プラグインを複数設置するなど、多角的な方法でCO₂排出量の削減、脱炭酸社会を目指す取り組みを進めております。



再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料

■設備概要

52.65kWの太陽光発電と200kWhの蓄電池システムで、年間の発電量は67,383kWhが想定されています。

<設備詳細>

設備	製造者名	型式	容量	数量
パワーコンディショナー	H U A W E I	S U N 2 0 0 0 - 4 0 K T L - N H	40kW	1台
太陽光モジュール	LONGi Solar	L R 5 - 7 2 H T H - 5 8 5 M	52.65kW	90枚
スマート蓄電池システム	H U A W E I	LUNA2000-200KWH-2H1	193.5kWh	1台

■導入場所

株式会社日野エンジニアリング 本社ビル屋上
(東京都八王子市大和田町1-10-8)

■導入目的

使用電力の削減、CO₂排出量の削減、災害時の電力確保

■導入効果

使用電気量の一部を太陽光発電で賄うことが可能→電力料金の削減
年間で34,500[kg-CO₂]の二酸化炭素削減想定→CO₂排出量の削減に貢献

■省エネルギー対策の取組内容

太陽光発電システムの導入により、日中の消費電力の一部を太陽光発電で補うことができます。

また、蓄電池設備で最大デマンド発生時のピークカットを行うことで消費電力の平準化、デマンド料金の削減を実現。

さらに、社用車としてPHEV(プラグインハイブリッド車)を導入するなど、さらなる省エネルギー対策を行っています。